

ラミシール(クリーム・外用液)を使用されている方へ

# 足白癬の患者さまへ

## 水虫のお薬の使い方

監修：埼玉医科大学皮膚科 教授

常深祐一郎 先生

塗り薬は使い方で効果に大きな差が出ます。そのため、頑固な水虫を完治させるには、塗るタイミング・範囲・量・期間など、適正な使用方法が重要です。これらの注意点を守って、しっかりと治療に取り組んで下さい。

病医院名／薬局名

サンファーマ株式会社

## 塗るタイミング

1日1回、毎日入浴後に塗布するのがよいでしょう。入浴後は、前日の塗り薬や汚れが除去されているうえに、角層の水分量が多く、薬の浸透性もよいからです。また、忘れにくいよいタイミングです。

くつ下をはく場合、5本指くつ下にすると通気がよく、より効果的です。

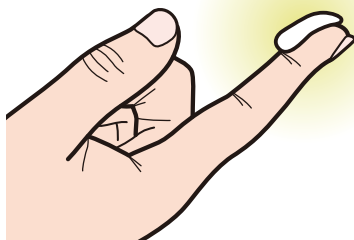
## 塗る範囲

水虫の原因となる白癬菌は、目に見える病変部だけにいるわけではありません。足底・指の間・足の側面・アキレス腱部まで（簡単に言うと、足の甲以外全体です）、薬をくまなく塗って下さい。片足にしか病変がなくても両足に塗布するようにしましょう。



## 塗る量

クリームの場合は、人差し指の第一関節分だけ押し出して、これで上で示しました範囲（片足の裏から側面と指全体）に塗布してください。このように両足に塗ると、1か月でチューブ約3本がなくなります。このくらい減らない時は、薄く塗りすぎているか、塗り残しがある証拠です。



## 塗る期間

症状が少し改善したり、かゆみがおさまっても、白癬菌は残存しています。すぐに塗布を中止すると再発するおそれが高いため、症状消失後も通常最低1か月は塗布を続けます。中止する際は医師に相談しましょう。